

愛愛母について

〈質疑書〉★質疑応答

質問 1) 椅子の必要性が良くわからない（椅子とするなら座面がもう少し大きい方が良い）

★在宅介護では、車いすの代用になります。FS型は、床仕上げが畳・カーペット等で人が乗ると重くなりますが、着脱椅子をご利用されると軽く移動が可能になります。おんぶの姿勢から着座姿勢に数秒でなり、完全に座位保持されて安定可能で、着座の部分は、お尻が所定の位置に着座が守れます。

質問 2) 個人宅の廊下やトイレでは大きいのために使えない（使いにくい）こともあると思う

★その様な内容を想定して建築士が建築モジュールを考慮して器具は、出来ています。器具の幅が55cmで一般廊下およびトイレ入り口対応できます。一般の車いすの幅は、61cm～63cmです。車椅子よりもより6cm～9cm狭い幅で仕上がっています。

質問 3) ベルトを装着するのに時間はかかるし、姿勢で腹圧もかかると思うので、トイレ介助の場合、対象者が我慢できるのかと思う

★そのような人に数秒で着脱椅子を装備して移動を可能に対処します。（体載せ台を適宜な角度でご利用もできます。（リハビリを兼ねた移乗移動方法が可能です。ヒザ帯なしで使用してご利用者が下半身を支えます。）

質問 4) 椅子を使用して移動する時と使用しない時とどう使い分けるのか。丸椅子はやや不安定な気がする

★ヒザ帯（下半身の保持）安全带は、（介護帯代用）と（介助者が両手で介助した状態）になります。着脱椅子の利用は、おんぶの状態が苦痛方・長時間移動する方・在宅でお茶程度や軽食・FS型は、移動の使用は軽く移動が出来ます。（床仕上げがソフトフローア・カーペットの移動時）

質問 5) 畳では移動しにくそう

★在宅用は、中輪の軽の大きいタイプS型（通称在宅タイプ）になります。着脱椅子を利用すれば軽く移動が可能になります。FS型の使用は、着脱椅子使用で、軽く移動が出来ます。

質問 6) 基本、バック走行なのか。バックは怖いと思う

★長距離は、着脱椅子でご利用者のご意見に沿う事が出来ます。またご利用者さんが望まれば可能になりますバック走行でも前向き走行も問題はありません。

質問 7) セッティングに時間がかかっている

★介助器具を使用して頂く上で、万全の安全対策上必要と考えております。よろしくご理解ください。

質問 8) 食後では腹圧がかかり戻す（嘔吐する）恐れがあるので注意が必要

★器具の相性の合わない方は、お控えくださいになろうかと思えます。（着脱椅子を利用するのも方法の一つと思えます。）（リハビリを兼ねた移乗移動方法も一つの方法と思えます。）

質問 9) 認知症の方には難しいところもある（動作の理解ができず動く、触る等をする）

★器具の愛称の合わない方は、お控えくださいになろうかと思えます。意思表示のない方のご利用は難しいと思えます。

質問 10) ズボン、パンツの上げ下ろしや、トイレ後にお尻を拭くことも実際にすべてやってみると、また改良点が見つかるかもしれない

★動画に（トイレ介助）（オムツ介助）の要領動画をホームページでご覧になれます（長友介護で検索お願いします）リアルに動画で撮影しました（車いすからオムツ交換の作業・愛愛母おんぶを利用してオムツ交換・排泄介助をリアルに作業を行い収録しました。（作業手順や作業に不備に感じられる部分は、各施設様にてご配慮くだされば良いと思えます。）

質問 11) リフトから着座の際に力のない介護者には難しそうな気がする

★その様な問題を解決するのが、長友式バックルです。長友式バックルは、引張強度 580k g の強度を持ちどの位置でもロックがかかり着座は、バックルだけでも緩やかに楽々と力のない介助者でもご利用が出来ます。(バックルとベルトの引張強度検査は、宮崎県工業試験所で検査状況を弊社ホームページの(取り扱い説明書はこちら)の中に表示してあり7ページです。)

質問 12) 紐関係の金具はいつか止めが緩くなりそうな気がする

★ベルトおよびバックルに関しては、数万回に及びバックル使用でベルトが緩んだケースは一度も経験はございません。バックル解除の作業を行わない限り緩んだ事はありません。

質問 13) リフト時の股関節の屈曲角度が大きすぎる印象

★確かに外から見るとその様な印象に見受けますが、今までデモに参加された方のご意見は、同じことを思っておられました。見た目との違いをアンケート用紙や言葉で履がされました。理学的に解明した事では、ないです。拘縮された方等は、医師の判断が必要と思います。すべての方にご利用ができません。

質問 14) ベルトをかける、緩める、が多い

★安全に移乗移動を繰り返し行うには、安全に作業ができる必要がありますので最低必要な作業としております。(介助者・ご利用して頂く施設様・器具販売者・器具製造者) 責任問題とさせていただきます。

質問 15) クッションを取り外す、つけるなどの手順が多く、覚えるのが大変そう

★最初は、そのように感じますけれど、赤ちゃんをおんぶする要領です。まったく同じ原理でできています。すぐにご理解が出来ると思います。

質問 16) 利用者をのせたまま移動する際のガタガタ感が強く、乗り心地が悪そう

★ガタガタが強く感じるのは、シーソーのように中輪が下方に下がった状態で出来ています。そのために、(多少の段差が越えられるようになります) のと(移乗した座面から低い座面・高い座面に移乗の対応ができます)

質問 17) 移動の際の手の置き所がなく、ずっと下を見ながら運搬される

★体載せ台は、ご利用者の望む角度の位置で固定が出来て座位も保持できます。(膝帯・引き上げ帯・介護帯) で安全に移動が可能になりますもう一つの対応が(着脱椅子が数秒で用意できます)

質問 18) レバーを下げた時、利用者の手が挟まれそう(肘当て等あっても良い)

★体載せ台受台は、新規器具にはなくなりました。ご指導有難うございます。色んな手すりや保持部を着脱的に試みましたが良い印象はなかったです。あえてないほうが、フリーな姿勢で(椅子に着座)や(おんぶされた状態)の自由な姿勢の方が良いと判断しております。

質問 19) レバーを下まで下げた時の介助者は、かなり低い位置で作業をしなければならない

★新規に撮影した動画をご覧になれば、ベッドでオムツ交換より楽な姿勢でオムツ介助やお尻の世話が出来るようなきがしました。ご覧になってください。

質問 20) 機械そのものに圧迫感を感じる

★器具の色の配色を変えて明るくしていく必要があると思います。これからの課題にさせていただきます。

質問 21) 膝の間にクッションを入れられるのはどうか・・・

★動画をご覧になれば分かると思います。ヒザ帯で下半身を支えると、ヒザの間が狭くなりオムツが外しにくくなります。あわせて排泄も股を開く事で良くなると思います。・男性の排泄は、男性器を押し下げてしますので必要せいが高いと思っています。

質問 22) 機能としては(バックルなどの量や工程) あんなものかなと思う

★ご理解有難うございます

質問 23) 身体を下ろす時に、本体が浮いているように見えた

★器具は、シーソーのように揺動しますので浮いた状態だと思います。（段差を超えるため・移乗の昇降の範囲を広くするための考慮です。）

質問 24) 動かしにくそう（タイヤのサイズが気になった）

★その様な時に着脱椅子を数秒でセットして、使用することで移動が軽くなります。車輪を小さくすることで、器具の幅を 55 cm で一般の車いすにご利用された方が足をフットレストに乗せた状態で足の載せ替えることなく移乗が可能になります。（低床ベッド可能）床の移動可能な仕上げは、（木製・一般のクッションフロアー・ピタイル・タイル）・重い移動の床は、（畳・厚いカーペット・ソフトフロアー）重い床仕上げの場合は、S 型が良いと思います通称（在宅タイプ）

質問 25) デザイン（横から足の状態が見えにくい。見えても良い）

★構造で難しい問題です。

質問 26) 長友式バックルは良いと思う

★ご理解有難うございます。

質問 27) 介護帯や膝帯は良いように思う（持ち上げた際のベルトのずれがない）

★ご理解有難うございます。

質問 28) 前傾姿勢が増すので、利用者の安心感や窮屈感がどの程度あるか？（モデルさんはかなり緊張していたように見える）

★体載せ台は、適宜な角度で停止固定しますのでご利用者さんに希望に合った角度でご利用して頂ければよいと思います。ただし安全带とヒザ帯で座位保持される事は条件になります。100 k g を超す方・30 k g の方やいろんな方にデモに参加して頂きましたけれどご心配されているようなご意見は、御座いませんでした。または、（FS 型で、着脱椅子使用すると軽く移動が出来ます）

質問 29) 移動方式が施設向きでない印象（回転は楽そうであるが、施設の柔らかい床面や前傾姿勢での移動距離が長くなる場合は負担が大きくなりそう）

★そのような施設様は、S 型をご利用になるか、または、（FS 型で、着脱椅子使用すると軽く移動が出来ます）または、（FS 型をトイレの中に設置して、すでに排泄された方や排泄される方を車いす使用中に排泄介助やオムツ交換にご利用して頂ければよいと思います）

質問 30) 膝の間のクッションの使用目的が良くわからない

★動画をご覧になれば分かると思います。ヒザ帯で下半身を支えてヒザ間が狭くオムツが外しにくくなりますのを広げた状態を保ちます。あわせて排泄もしやすい事・男性の排泄は、男性器を押し下げますので必要せいが高いと思っています。

質問 31) 車輪が小さく、段差昇降やカーペットなど摩擦が大きい場所では移動しずらそう

★そのような施設様は、S 型をご利用になるかまたは、（FS 型で、着脱椅子使用すると軽く移動が出来ます）または、（FS 型をトイレの中に設置して、すでに排泄された方や排泄される方を車いす使用中に排泄介助やオムツ交換にご利用して頂ければよいと思います）

質疑がある方は、ご面倒ですがメールで内容を書き込んで送信してく

ださい。数日後には、質疑応答をメールで差し上げます。

愛愛母おんぶ ベルト・金属 引張試験

キーワード	品名		
結果ファイル名	20160727ベルト引張 _3.xtai	条件ファイル名	ベルト 引張条件 20160727.xmai
作成日	2016/07/27	試験日	2016/07/27
試験モード	シングル	試験種類	引張
速度	50mm/min	試験片形状	平板
バッチ数	1	サブバッチ数	1

名前	最大点_試験力
パラメータ	全エリアで計算
単位	N
ベルト No2	5862.50
平均値	5862.50
標準偏差	-.-
最大値	5862.50
レンジ値	0.00000



ベルト引っ張り検査は、最大 586 k g で上記の右側写真の状態でも動金具が可動部の損傷で2つのバックルともほぼ同じ値で破壊。表示は、少ない値を表示しています。